



## 研修の様子を紹介します

教科リーダー養成講座（小・中・特）： 5/31（水）

本講座は、小・中・特別支援学校に勤務する教職7年目以降の教諭を対象としています。教科の専門性を高め、各地区で教科指導のリーダーとなる人材育成を目的とした講座です。受講者は、「教科教育専門監」の候補となります。

講座1日目は、教科別に大学の先生から「学習指導要領の趣旨の実現」に向けて、最新の授業実践事例等を学び、教科の専門性の伸長を図るための講義をしていただきました。協議では、地域の教科指導の手本となる授業を目指し、各自が作成してきた学習指導案について少人数で意見交換を行いました。

今後は、指導案検討、授業公開（1回）、授業参観（2回）、研修のまとめを予定しています。



大学教授の講義の様子



グループ協議の様子

### 受講者の声

大学教授の講義では、文法事項にとらわれすぎず、何を伝えることができるかを考える必要性を改めて学びました。明確で生徒が伝えたいと思える目的・場面の設定をしていきたいと思えます。

普段は同じ教科の先生と話せることが少ないので、同様の問題意識を共有したり、実践事例を話し合ったりできる機会は本当に有り難いと感じました。今後の授業実践力の向上や、モチベーションの維持に繋がりました。

教科指導力ランクアップ講座（高等学校）： 6/16（金）

本講座は、教職経験が2年目以降の高等学校・中等教育学校教諭を対象として、教科指導力の向上を目的としたオンライン型の研修です。今回の研修では、教科別に大学の先生から「各教科における課題解決の方法」について講義していただきました。その後の教科部会では、受講者同士で協議を行い、各自の指導上の課題を明確化するとともに、改善すべき点や授業構想のためのアイディア等を出し合いました。今後は学習指導案（略案）を作成し、それを基に授業実践を行う予定となっています。



### 受講者の声

生徒に発問し、考えるきっかけをつくることで、生徒同士の対話が生まれるきっかけとなり、深い学びにつながっていくと体感しました。

同じ課題を持っている先生方とアドバイスを合えるのは非常に良い機会だと思いました。

# 新潟県立教育センターでは、教育課題についての調査・研究を行っています

第114号から、当センターが行っている調査・研究テーマについて紹介しています。今回は、「特別支援教育」、「学級経営」、「キャリア教育」です。

## 特別支援教育

### 【テーマ】

高等学校における特別な支援を要する生徒の卒業後を見据えた指導・支援に関する研究～特別支援学校のセンター的機能の活用～



### 【目的】

高等学校においては、特別な支援を要する生徒が、卒業後も社会から孤立することなく、進学先や就職先等で豊かに生きていくことができるよう、生徒の教育的ニーズに応じた指導や支援を行う必要があります。また、特別支援学校には、地域における特別支援教育を推進する上で中核的な役割が求められており、高等学校との一層の連携が期待されています。

このことを踏まえ、高等学校における特別な支援を要する生徒の指導・支援について、特別支援学校での教育相談等の調査・分析を行い、特別支援学校の地域におけるセンター的機能の活用と高等学校卒業後を見据えた指導・支援の在り方を追究します。



## 学級経営

### 【テーマ】

笑顔あふれる学級づくり～よりよい学校生活をめざした話し合い活動の指導～

### 【目的】

小・中・高等学校において、児童生徒がよりよい学校生活を送るためには、互いの考えを認め合い、児童生徒が主体となって学級をつくり上げる風土が大切です。一人一人が大切にされる温かい雰囲気の中で、児童生徒が本音で語り合うための教師の役割や働きかけについて研究します。

今年度は、若手から中堅までの学級担任が、話し合い活動の指導について、現状をどのように感じ、今後どのようにしていきたいと考えているかのアンケート調査を行い、その結果の分析を通して小・中・高等学校における話し合い活動の指導の在り方を追究します。



## キャリア教育

### 【テーマ】

アントレプレナーシップ（起業家精神）教育の基礎的理解

### 【目的】

新潟県のキャリア教育においては、「郷土愛」や社会人・職業人として自立して生きていくために必要な「基礎的・汎用的能力」の育成を掲げ、地域参画型のキャリア教育を推進しています。そのためには、小学校から高等学校までの各学校段階における体系的・系統的な取組を実施することが重要となります。

今年度は、様々な社会変化のある中、主体性をもって課題に挑む人材の育成を目的とし、アントレプレナーシップ教育が強化推進事業として掲げられています。

このことを踏まえ、「アントレプレナーシップ（起業家精神）の基礎的理解」をテーマに研究を進め、児童生徒が自らの興味・関心や問題意識等を出発点として、地域課題や自分自身のやりたいことを見つけ、社会との関わりをもちながら課題解決に取り組む探究的な学びのプロセスを追究します。